

新型コロナウイルス IgM /IgG 抗体検査キット取扱説明書

○内容物の確認

商品内容



本検査キットには左図のものがあります
検査キット本体、スポイト(キット本体に同包)
検査液(バッファー液)
採血針(写真と異なる製品が付属する場合がございます。)
消毒紙、絆創膏

絆創膏



消毒紙



バッファー液



スポイト



採血針



キット本体



○使用方法



①指を消毒紙で拭き、採血針で血液を出します。
詳細は裏面を参照にしてください。



②指を圧迫し、2.5 mm程度の血液を用意してください。



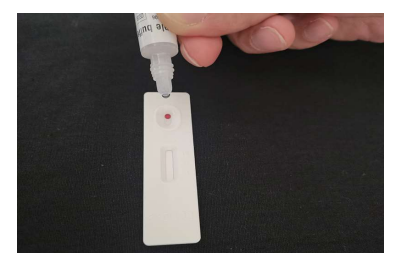
③血液を付属のスポイトで吸ってください。血液を奥まで吸いすぎると出にくくなりますのでご注意ください。



④血液をキットに 20 μ l(1滴もしくは穴の紙面が全て赤くなる程度)入れてください。入れすぎには注意してください。



⑤バッファー液を用意し、ふたを開けてください。



⑥検査液を60 μ l(2~3滴)キットに入れて数分お待ちください。液が右の検査紙に浸透していきます。



⑦検査液が検査紙に徐々に染みていきます。

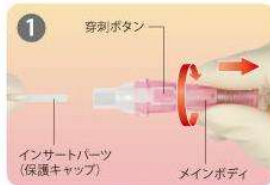


⑧図のように C ラインに線が出れば検査は成功です。逆に C ラインに線が出なければ検査失敗です。結果は裏面を参考に判断ください。

○検査針使用方法

ニプロ社製の場合

指先の穿刺の場合



インサートパーツ(保護キャップ)を持って、メインボディを2,3回まわして取り外します。
※穿刺針はメインボディ内に格納されています。



本品を人差し指と中指ではさんで親指で穿刺ボタンの上にあてる形で持ち、穿刺部(指先、手のひら等)に押しあてます。



穿刺ボタンを押すと作動し、穿刺針が出ます。作動するまで本品を穿刺部から離さないでください。
<注意>
採血の際は穿刺部位や穿刺器具を動かさないようにすること。



周囲を軽く押して、血液を採取してください。

テルモ社製の場合(※ピンクではなくブルーの場合もございます)



ホルダーをしっかり保持し、保護キャップをねじ切り、引っ張って取り外してください。取り外した保護キャップはすぐに廃棄してください。



測定する指(穿刺する指)をアルコール綿などで消毒する。



本品の先端部分を採血部位に押し当て、「カチッ」という音がするまで本品を押し付けてください。



指先を軽く押して血液を出す。血液が約2.5ミリの球状になるまで

※血液がうまく出ない場合は、メディセーフフィット「とらのまきの「穿刺する」」もご参照ください。※針の長さは2種類あります。裏面をご確認ください。

○検査結果

感染初期

すでに治癒
免疫状態
抗体あり

感染中期
OR感染後期



①

陰性

NEGATIVE



②

陽性

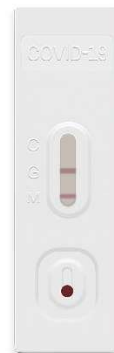
POSITIVE



③



④



無効

INVALID



① IgM(-)とIgG(-)は、患者がコロナウイルスに最近感染していないことを示唆するものであるが、5日以内の感染を反映するものではないため、PCR検査の結果および臨床症状と併せて確定する必要があり、職場復帰を希望する無症状の患者では職場復帰が可能であることを意味します。

② IgM(+)とIgG(-)は、最近の新型コロナウイルス感染初期を意味し、かつ新型コロナウイルス感染からの経過が短いため、2週間程度以内の急性期にPCR検査の結果を考慮する必要があることを意味します。PCR検査の結果が陽性であれば、それに応じた隔離および治療が必要であり、たとえPCR検査の結果が陰性であっても、油断はできず、隔離が必要で、複数回のPCR検査が推奨されています。

③ IgM(-)とIgG(+)は、新型コロナウイルスに感染しており、かつ急性期を過ぎていることを意味し、PCR検査は通常陰性です。

④ IgM(+)とIgG(+)は、新型コロナウイルス感染中期と考えられ、感染期間が2週間を超えていることを示唆する。PCR検査の結果と合わせて、このような場合には隔離が必要であると考えられ、治療の必要性は患者の臨床症状およびPCR検査の結果に依存、最近感染したか回復したかを判断します。